



さいとう ひさこ 齊藤 寿子

魅力ある堀内で あり続けるために

合意形成が得られれば助成を検討する

質問 旧堀内小学校跡地の芝生広場にベンチや遊具、屋根のある東屋や水飲み場があれば、幅広い世代の交流の場になると思います。地域や有志で遊具を含めた公園の管理や見守りはできないものか町長にお伺いいたします。

町長 子どもが遊ぶための遊具の設置の他に、堀内生活改善センターの改修については、町の提案



住宅建築が進む堀内分譲地

に対して地元町内会役員による話し合いが開かれましたが、遊具の管理や施設の除雪など年間を通じた管理体制が整わないという理由から十分な回答が得られなかった経緯があります。堀内地区の地域運営組織において、堀内生活改善センターや遊具及び公園の維持管理に対する合意形成が得られれば、必要な活動に対して補助金による助成を検討してまいります。



いのうえ ようへい 井上 洋平

UJIターンの 現状と今後の取り組みは

情報発信をさらに進める

質問 町内の子どもや保護者へ、UJターンについての意識調査等は行っていますか。今後、町ではUJターンの形態の中で、どの形態に重点を置きますか。町の取り組みについて、今後見直し等は考えていますか。

町長 短期アクションプランにおけるUJターンの実績は、「将来、舟形に住んでみたい」は、平均値で41.4%、「若者定住奨学金支援事業」利



ひだまり第2分譲地造成により移住定住が促進されました

用後の町内居住者数は、令和5年度末の実績で4人、移住施策の展開は、令和5年度末実績、年間28件、子どもや保護者への意識調査「地元で働くことに興味を持ちましたか」の項目は、95%と高い数値となりました。重点を置く点は、移住定住のための情報発信や相談窓口による対応の更なる推進により、UJターンの定住を促進してまいります。



ぬまざわ りゅう 沼沢 龍

一人暮らしの方への 支援策は

ニーズ調査を実施し検討する

質問 近年増えている一人暮らし世帯への支援策はどう考えていますか。有料ごみ袋を大、中他に単身向けの小サイズを検討できないでしょうか。今後増える一人暮らしの方への新たな施策や支援はどのようにお考えですか。

町長 現在舟形町では45リットルの大と30リットルの中のもやせるごみ袋を導入しています。小



既存ごみ袋(右・中)と他自治体ごみ袋(左)との比較

いサイズは6年前に検討しましたが、需要が見込めないことから見送った経緯がございます。世帯の構成人数や利用形態などにより、様々な需要が考えられますので、今後ニーズ調査などを実施しながら、検討してまいります。一人暮らしの方も含めたすべての町民が、健康で安心して暮らせるまちづくりを推進してまいります。

軽量鉄骨造り カーポートに補助を

補助対象になるものと捉えている

質問 近年はカーポートが設置された住宅が多くなっていると思います。軽量鉄骨造りのカーポートは、耐震性に優れ、雪下ろし作業も軽減します。若い世代が定住しやすくなるためにも、建築に補助をしてはいかがか町長に伺います。

町長 軽量鉄骨は、屋根に勾配がつけられ、雪下ろしの負担軽減が可能であり、耐久性や、耐震性にも優れています。



学生用アパートに設置されているカーポート

在来工法木造住宅建築補助金は、町内の業者が施工する車庫、小屋、物置の建築については補助対象としており、軽量鉄骨造りのカーポートも対象になるものと捉えています。補助金制度については、公益性、公平性、効果、補助金額を検証しながら、社会情勢や将来的な見通しを踏まえ見直しをすることが必要と考えています。